# 十勝のチカラ（地から）

2020.10.9　発行
No.15（毎月発行）

発行人：日本酪農青年研究連盟　十勝協議会　会長　高野 修一
事務局：雪印メグミルク㈱ 大樹工場内（十勝協議会事務局　大山冬馬）
連絡先：TEL；01558-6-2121　FAX；01558-6-2124

## プロジェクトX ～酪農民と雪印のあゆみ～

今年2020年は雪印乳業食中毒事件（2000年）から20年の節目の年を迎える。そこで事件から20年を迎える今、【プロジェクトX】では酪農民と雪印の歩みを振り返る。第４回は海外研修と日本連盟発足について（引用文献：連盟記念誌、酪農風雲録）。

### 「酪青研バッジを胸に、酪農先進国デンマークに」

出発直前の太田委員長（S27）

酪青研は幾多の分断危機を乗越え発展を遂げてきた。これも酪青研会員の地道な努力とそれを支えた乳業関係者の影の努力があってこそである。運営も軌道にに乗ってきた頃、初代酪青研委員長である太田正治は昭和27年（1952年）5月10日、異国の地へ出発することになった（現在の海外研修の礎となる）。「酪青研バッジ１つだけを胸に飾ります。酪青研盟友諸君にはそのことだけをお伝え下さい」と一言いい残してデンマークに旅立ったのであった。デンマークは北海道程の面積であるが、当時は有数の酪農推進国であった。酪青研の理想は北海道酪農合理化の指標をデンマーク農業に求め、その心髄を北海道酪農に活かし世界水準の達成を目標にしてきた背景から、デンマーク研修は酪青研の悲願でもあった。太田委員長の人柄もあり、帰国の旅費の一部として会員一名につき100円を拠出することとなり募金運動が展開された。会員からの積極的な協力もあり年内には募金総額は15万円以上になった。この太田委員長の海外研修は機関紙「酪農青年」にも発表され、こうして多くの実りを得て終えた海外研修は多くの会員の心を魅了することとなったのであった。太田委員長のこの渡欧が口火を切り、昭和28年には会員の海外研修が開始され多くの盟友が海外に旅立つことになった。

### 「北海道酪農青年研究連盟から日本酪農青年研究連盟へ」

酪青研のあゆみを紐解くとこれまでの歴史は３期に分けることが出来る。設立時は①北海道酪青研だったのだが、その後、第5回北海道酪農研究会（S27）に岩手県から2名の若手が参加。そこから東北に盟友の輪が広がり、昭和30年には名称を②北日本酪青研と改称。その後全国各地で連盟組織が結成、昭和38年には③日本酪青研となり現在の組織へと発展。※酪青研組織の変遷：①北海道酪青研（S23～S30）②北日本酪青研（S31～38）③日本酪青研（S38～現在に至る）

佐藤貢社長と工場を視察する昭和天皇（S29）

### 「新しい風が吹き渡る組織づくりに挑戦」

こうした歴史的背景の中で日本連盟が組織されたことで、従来の酪青研活動と違う大きな新風が吹き渡ることになった。これまでの北海道酪青研時代には、草地主体で広い面積を持ち、酪農経営の合理化が目的であったが、本州の会員が増加したことで北海道とは違う小面積で集約化された本州の酪農、水田地帯や畑作地帯の酪農という環境を背景に持つ会員が飛び込んできたため、同じ「酪農振興」が旗印であっても、それに向かう技術には違いがあり、この違いこそが全国にネットワークを持つ「酪青研」のかけがえのない財産となった。
これは全国の盟友が互いに手と手を結び、世界水準への到達を目指していける新生「酪青研」が産声を挙げた瞬間そのものであった。

オートバイで乳牛診療を行う当時の酪農係（S30）

酪青研はこうした違い（経営指標・技術・地域条件）がある盟友が入会していき、全国に共通する考え方や綱領の制定に追われることになる。当時の日本連盟はこの問題に可及的速やかに対処すべく酪青研近代化専門委員会を設置した。苦心のすえ「日本酪農青年研究連盟大綱」「農業情勢に対処する酪青研の基本的な考え方」などのプランを次々に発表し組織の充実化を図った。酪青研は、先人たちの情熱を脈々と受継ぎ、昭和42年には創立20周年記念事業を挙行した。記念誌の発刊や酪青研連盟歌の作成も行われ、酪青研は世界水準の酪農経営の実現を目下の目標に力強く、着実に前進していくのであった（続く）

酪青研会員宅で酪農係の牧場現地研修（S41）

## 大樹工場通信　－福利厚生棟が遂に完成！－

昨年８月末から取り壊しを進めてきた国道236号線沿いの旧排水処理場跡地の更地工事が今年4月に完了、５月からは従業員のための福利厚生施設を建設しておりました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、一部内装工事がやむなく延期されていましたが、今月ついに全ての内装工事が完了しました。今後は従業員の交流を深めることを目的に使用されるほか、工場開放デー開催時の地域の皆様への開放など様々な用途に応じて使用される予定です。昨年までの一連の流れを事務局定点カメラにて撮影しましたので、特別ダイジェスト版で皆さんにご紹介します！

2019年8月　旧排水処理場取壊し

2019年10月　旧排水処理場更地化

2020年4月　福利厚生棟基礎工事

2020年6月　福利厚生棟骨組み完成

2020年8月　福利厚生棟屋根完成

2020年10月　福利厚生棟完成

## おしらせ　ご自宅で「ついで筋トレ」始めませんか？

雪印メグミルクでは乳製品アンバサダーとして、近畿大学生物理工学部 谷本道哉（たにもと みちや）准教授に監修を頂き特別コラボ企画をHPにて紹介しています！内容は筋トレを行う際に重視する食品についてや筋トレ動画など。筋トレ時にはタンパク質の摂取がカギとなります。タンパク質は筋肉の合成反応を促すので、朝からきちんと数回に分けて摂取するのがベストだとされることなどを紹介。チーズは高タンパク低糖質なので筋トレにはピッタリとのこと。ぜひこの機会に、雪印メグミルクの乳製品を使って美味しく、楽しく筋トレしてみませんか！？きっとハマりますよ！

（※谷本先生はNHKで放映中の「みんなで筋肉体操」にも自ら出演されております）

**雪メグHPには谷本先生の筋トレ動画やおススメの乳製品が紹介されています★**
**デントコーン収穫が落ち着いた頃に、雪メグHPや筋トレ動画をご覧下さい！！**

酪農語録　「牛飼には 酪農三徳がある」　言葉：北海道製酪販売組合創立者　宇都宮仙太郎